

2022年6月1日発行

梅雨入りが近づいています。梅雨期間の総雨量は平年並みと予測されています。

## 最近の状況

日本気象協会が5月30日に発表した「梅雨入り予想」によれば、当初の予想より、梅雨前線の北上が遅くなる見込みで、そのため、今年の梅雨入りは、九州～関東は「平年より遅」く、北陸、東北は「ほぼ平年並み」となりそうとのこと。コンピュータシミュレーションの誤差は、まだ大きく、前線の位置の予測は難しいのだそうです。

## 5月定例会を開催しました

2022年5月19日（木）には4月に引き続き、日本水道新聞社のご厚意により、日本水道会館8階第4会議室にて定例会を対面方式で開催しました。今回は、宇野安さんから「カーボンプライシング」についての説明を聴きました。参加者は、会場が10名、zoomが3名の計13名でした。対面方式の開催は今回もたいへん好評でした。参加者からは、「炭素税の価格は客観的で正確な算出が可能」であり、「カーボンプライシングについて、非常に勉強になった。」、「排出量に応じて公平に課税することが、企業の削減努力と競争を促し脱炭素化が進む。」、「メーカーは、炭素税に関心は高く、カーボンニュートラルへ舵を切っている。」など様々なコメントが寄せられました。詳細については、水道公論7月号「要点を探る」に掲載されます。

## 水道公論6月号の内容

今回新たに「公論交差点」で、4月定例会で鈴木康二さんの話した「新しい資本主義のアジアにおける水道・下水道事業を考える」を掲載。「海外水ビジネスの要点」シリーズでは「新しい資本主義実現会議の動向（工藤克典氏）」、コラム「海外ビジネスの眼」では「海外水ビジネスへの再挑戦」を掲載。



マリーゴールド

## 定例会・幹事会の開催について

- ZOOM幹事会がいつもの予定より1日前倒して6月9日（木）20時から。6月、7月定例会の開催内容の確認や今後の予定についての説明・相談等を予定。
- 6月16日（木）（19時半から21時）は、準定例会（ZOOM）で、講師は朝山由美子さん、吉村和就さん。テーマは今年4月23、24日に行われた熊本アジア・太平洋水サミットを取り上げます。
- 7月、8月の定例会は、会場開催に戻り、7月21日（木）12時半から14時半（水道会館8階第4会議室）、講師は今井茂樹さん。テーマは温暖化問題への対応2回目で水素の話（1回目は再生可能エネルギーでした）8月18日（木）は講師は山口岳夫さんでテーマは中小分散型上下水道です。

## 水道公論コラム原稿を募集しています

字数は1500から1600字、「である調」、ペンネーム（実名は出さず）で原稿を募集しています。連絡は山村まで。